



令和3年 社長新年のご挨拶



令和3年、新年あけましておめでとうございます。
年末年始はおだやかに、お過ごしできましたでしょうか？

昨年は年明け間もなく、世界中が新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われ、1月11日は当社の創立60周年の記念日でしたが、コロナ禍の中式典の延期となりました。また3月には念願の本社新社屋にて業務を開始しましたが5月以降は、コロナ禍の中、密を避ける為に在宅勤務、時差出勤、テレワークを余儀なくされました。2017年から関西宇部、北陸宇部、太平洋セメントの通算7名の方による原発プラント運営の応援業務も、12月21日に林君を最後に、当初の計画の数量を出荷でき無事に終了することとなりました。そして、12月にはコロナ感染第三波による影響で暗いニュースにて1年を締めくくりました。

近年の増益に大きく貢献していた原発プラントの出荷は、前年に比べ減少傾向にあり、コロナ禍のなか、我々の仕事の現場では依然として厳しいというのが実感です。今後大幅な増収増益が望めない景況である以上、日々の仕事を着実に進めてください。本年は、新年度63期より生コン事業部、砕石事業部、アスファルト事業部と各事業部にて更なる独立採算制を取り組んでまいりたいと考えます。各事業部の将来を見据えた、組織の充実を強固なものにするために、人手不足の解消を目指して、更なる生コン工場の集約、砕石プラント自動運転システム、砕石・アスファルトの自社ダンプによる運搬を口進めコストパフォーマンスを高めてまいります。各事業部にて採算制を見つめなおし、足りないこと、難しい課題があれば相談し、更なる安全安心の職場づくりへ邁進してまいります。

最後に、皆さんとご家族のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とします。
今年も頑張りましょう。

令和3年1月4日
代表取締役社長 東別府 錠二



環境安全本部より年始のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
今年の正月は「ステイホーム」で、実家に行けなかったり、県外からお子さん・お孫さん達も帰って来られなかったりと、寂しいお正月だった方も多かったと思います。鹿児島県内でも連日感染者数増加の報道が流れています。誰が感染してもおかしくない状況です。しかし幸いな事に、ガイアテックの社員で感染したという報告はありません。日頃から皆さんには「3密禁止・マスク着用・こまめな手洗い」の基本的な感染予防対策を実施してもらっています。2021年は無事故・無災害の安全対策と同じレベルで、コロナ感染予防対策を強化して行きます。「人的・物的事故災害ゼロの達成!」「社員からコロナ感染者を出さない!」環境安全本部はこの目標を掲げ、「皆さんが安心して仕事に集中し、笑顔で自宅に帰れる職場」この当たり前の事を続けられるよう、安全会議・パトロールを進めて行きます。「ご安全に!」



環境安全本部長 今屋 竜一

各事業部部長より !!

ガイアテックには大きく分けて3つの事業部があります。そこで新年を迎え各事業部長に、今年の反省ならびに新年の抱負を述べてもらいました。

砕石事業部

皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年を元気に迎えられたことと思います。昨年は、コロナの流行で大変不安な1年でしたが、我が社においては、原電関連の工事等あり計画を上回る業績を上げられたということは、喜ばしく皆さんの協力の賜物だと感じています。

さて、今年も原電関連の工事も終わりに近づき3年前の厳しい状況が予想されます。砕石事業部内では、沈砂池設置、表土除去等の直接売り上げが伴わない工事、作業も控えており皆さんのより一層の協力が必要になります。一致団結して乗り切っていきましょう。

最後に、これから寒さが厳しくなりますが、健康に気をつけて頑張りましょう。ご安全に!!



砕石事業部長 上馬場 正

生コン事業部

新年おめでとうございます。今年の干支は丑になります。元来丑は重い荷物を運んだり、畑を耕したり力強さの象徴であり粘り強さ、誠実さを表すとされています。新しい干支のもとで、各部署全員が一丸となって頑張る一年が始まります。

牛も千里馬も千里。仕事にスピードを求められる事は当然ありますが、まずは一步一步確実に、落ち着いて、手順通りに手抜きせず1日を1週間を1か月を繰り返して、1年無事故・無災害で終わることが会社への恩返しだと思います。

一人ひとりの小さな積み重ねで、職場内のモラルアップ・スキルアップを実現し安全で安心して働ける職場をつくりましょう。本年も宜しくお願ひ致します。



生コン事業部長 福永 信郎

アスファルト事業部

新年明けまして、おめでとうございます。昨年は、コロナで始まり、コロナで終わった一年でしたが、今年もまたコロナでスタートとなりました。このコロナの影響で飲食店含めたくさんの業種に多大な影響がでていることも皆さんがご存じの通りです。

当社の業種は、少なからず最小限の影響で済んでいることと感じます。しかしながら来年なのか再来年なのか、必ず影響がでてくることも視野にいれておかなければならないと思います。原電ピークも終わり、今後は厳しい時代がすぐそこにととれるこの世の中、皆さん、生コン、砕石、合材と全ての枠を取り払って一致団結、協力してこの時代を乗り越えていきましょう。そのためにも、まずは安全最優先として毎日の積み重ねが重要です。

合材は、今年も夜間作業があります。自社ダンプで納品もします。そして最終的に、アスファルト組合を何年先になるか分かりませんが、実現すべき動きで、価格、品質の安定を目標にします。今年一年、健康と安全に気を付けて会社全体を盛り上げていきましょう。本年も、アスファルト阿久根・川内・国分・大隅工場、よろしくお願ひ致します。



アスファルト 事業部長 荒木 紀光